

令和3年度 京都府総合計画の実施状況

5つのきょうとチャレンジの取組状況

※「総合計画に掲げた具体方策」欄はチャレンジに掲げる主な重点新規方策を記載
 ※令和3年度以降に取組を実施する方策は「次年度以降対応」と記載

「子育て環境日本一」きょうとチャレンジの取組状況

【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2019年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標	実績数値 (達成率：%)
住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	%	82.6	90.0	90.0	83.4 (92.7)
子育てに喜びや楽しさを感じている親の割合	%	96.0	96.0以上	96.0以上	93.3 (97.2)
子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数（累計）	社	—	1,500	900	1,642 (182.4)
子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	%	89.5	90.0以上	90.0以上	85.8 (95.3)

【令和3年度実績】 ※チャレンジに掲げる主な重点新規方策を掲載

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
子育て環境日本一に向けて京都で活躍する有識者等で構成する「きょうと子育て環境日本一サミット(仮称)」を設置し、子育て環境「共同声明」を発信します。	<p>◆子育て環境日本一推進会議設置事業 オール京都の推進体制により、「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」の各分野の課題の深掘りや課題解決につながる新たな取組を検討した。</p> <p>京都府子育て環境日本一推進会議 1回 風土づくり部会 3回 まちづくり部会 3回 職場づくり部会 3回</p> <p>◆子育てにやさしいまちづくり事業 子育てにやさしいまちづくりに取り組む市町村をハード・ソフト両面から包括的に支援した。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金</p> <p>8地域（福知山市、舞鶴市、宇治市、城陽市、長岡京市、京田辺市、久御山町、井手町）</p> <p>◆子育て環境日本一推進戦略事業</p> <p>(1) 子育てにやさしい風土づくり</p> <p>ア 子育てにやさしい風土づくり推進事業</p> <p>(ア) 「きょうと子育て環境日本一サミット」の実施</p> <p>令和3年6月に発足した京都府子育て環境日本一推進会議の構成団体が一堂に会して、「きょうと子育て環境日本一サミット」を開催し、「共同声明」「各団体の行動宣言」を発信したほか、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」への賛同を宣言した。</p> <p>開催日 令和3年11月3日</p> <p>場 所 府立京都学・歴彩館、稲森記念館、プロムナード</p> <p>参加者 約5,000人</p> <p>子育て応援・見本市参加企業数 11社</p> <p>(イ) 関係団体と連携した地域サミットの開催</p> <p>「社会全体で子育てを見守り支える」という気運を醸成するため、各地域において、府民参加型のワークショップ等を開催した。</p> <p>ワークショップ等開催回数 10回</p> <p>(ウ) 地域の子育て環境「見える化」ツールの開発活用支援</p> <p>府内市町村の子育て環境の向上を支援する「地域子育て環境『見える化』ツール」を作成し、本ツールを用いた市町村研修会を実施した。</p> <p>(エ) 子連れ世帯の外出・移動支援モデル事業</p> <p>府内の商店街、企業の店舗及び公共施設を「きょうと子育て応援施設」と位置づけ、</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>子ども同伴での外出を応援する取組を実施した。</p> <p>実施店舗 326 店舗</p> <p>イ 京都若者ライフデザイン推進事業</p> <p>若者（大学生や企業の若手社員）が人生設計を考えるきっかけづくりのため、ワークショップや仕事と子育てを両立している家庭との交流等、体験的に学ぶプログラムを実施した。</p> <p>ワークショップ開催数延べ 25 校・団体</p> <p>ワークショップ受講者数 1,462 人</p> <p>仕事と育児の両立体験事業参加企業数 22 社</p> <p>ウ その他</p> <p>(ア) 「出会いは京都」きょうと婚活応援センター事業</p> <p>「きょうと婚活応援センター」を活動拠点とし、婚活マスターや婚活支援団体、民間企業等と連携し、結婚の希望を持つ独身者の支援を行うとともに、団体会員制度と登録結婚支援団体制度を通じて、事業所や団体への支援を行った。</p> <p>本会員登録者数 923 人 団体会員数 107 社 婚活マスター登録数 49 人 登録結婚支援団体 5 団体</p> <p>(イ) 京都で育む子育て応援パスポート事業 (きょうと子育て応援パスポート制度の実施)</p> <p>子育て家庭・妊産婦の方が様々な特典を受けられる「きょうと子育て応援パスポート」のさらなる利便性の向上や普及促進のため、同パスポートのスマートフォンアプリ「まもっぷ」の機能拡充に取り組んだ。</p> <p>「まもっぷ」利用登録者数 累計 108,177 人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(ウ) 少子化対策推進事業 府子育て支援審議会幼保連携型認定こども園審査部会を開催し、同認定こども園の設置に係る審査を行った。 開催回数 2回</p> <p>(2) 子育てしやすい地域・まちづくり ア 保育人材等総合確保対策事業 ア 保育士修学資金等貸付事業</p> <p>(7) 保育士資格取得のための修学資金、潜在保育士の再就職時の就職準備金、保育料等の負担軽減のための貸付、保育補助者の雇上費の貸付を実施した。 保育士修学資金貸付 66件 潜在保育士の再就職準備金貸付 5件 未就学児をもつ保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付 45件 保育補助者雇上支援に係る貸付 4件</p> <p>(イ) 保育士等の確保・養成対策事業 ・保育の魅力発信キャンペーン事業 保育団体等と合同で、学生や潜在保育士等に向けて保育の魅力を伝えるため、SNS等を活用した広報活動や、特設Webサイトを活用した府内の保育所等の情報やイベント情報等の発信を行った。 ・事故防止等対策事業 事故防止や事故発生時の対応等に必要な知識・技術の習得等を目的とした研修を実施するとともに、園内活動中の事故防止等に関するアドバイザー派遣を実施した。 研修開催回数 6回 アドバイザー派遣巡回件数 12件</p> <p>(ウ) 保育士・保育所マッチング支援事業 京都府保育人材マッチング支援センターにおいて、保育士の就職相談、職業紹介、定着支援のほか求人開拓などを実施し、保育人材の安定的確保・定着を図った。 京都府保育人材マッチング支援センター</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>におけるマッチング数 83人 離職保育士バンク登録人数 累計 335人</p> <p>(エ) 職場環境改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の就業継続支援のため、時間単位年休制度の導入など職場環境の改善を支援するアドバイザー派遣を実施した。 <p>アドバイザー派遣園数 10園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職位や役割、昇進に必要な研修・資格等を盛り込んだ、京都式キャリアパスの普及のため、研修ハンドブックを保育士に配布するとともに、キャリアパス導入に関するアドバイザー派遣を実施した。 <p>アドバイザー派遣巡回園数 18園</p> <p>(オ) 保育事務等ICT化推進事業</p> <p>市町村が実施する保育士の負担軽減を図るために必要な業務のICT化を支援した。</p> <p>実施市町村 5市町</p> <p>(カ) 病児保育促進事業</p> <p>市町村が実施する病児保育の施設整備費や運営費を助成した。</p> <p>実施市町村 19市町</p> <p>(キ) 認可外保育施設等の質確保・向上支援事業</p> <p>認可外保育施設における保育士の負担軽減を図るためICT化を支援するとともに、認可外保育施設の質向上のため、施設を巡回し必要な指導を実施した。</p> <p>ICT化支援施設数 10施設 巡回施設数 50施設</p> <p>(ク) 学生等への就職・キャリア形成支援相談事業</p> <p>キャリア形成の専門的知識を持つキャリアコンサルタントにより、求職者と保育所等とのマッチング及び定着支援を行った。</p> <p>マッチング数 27件</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>保育所や保育士養成施設等への訪問による情報収集・求人開拓・学生への就職支援を実施した。</p> <p style="text-align: center;">訪問数 75件</p> <p>イ その他</p> <p>第3子以降保育料無償化事業</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市町村が実施する3人目以降の幼児教育・保育料無償化事業に対して助成を行った。</p> <p>補助対象 全市町村</p> <p>負担割合 (保育料無償化分) 府1/2、市1/2 (副食費分) 府1/4、市3/4</p> <p>交 付 額 239,244千円</p>
<p>新たに地域の子育て環境の充実度を数値化する指標を「地域子育て充実度見える化システム」として構築し、それを通じて自治会等の各地域がコミュニティで考え、各地域で自発的に行動する意識を高めます。</p>	<p>◆子育て環境日本一推進戦略事業 (子育てにやさしい風土づくり)</p> <p>ア 子育てにやさしい風土づくり推進事業 (イ) 地域の子育て環境「見える化」ツールの開発活用支援</p> <p>府内市町村の子育て環境の向上を支援する「地域子育て環境『見える化』ツール」を作成し、本ツールを用いた市町村研修会を実施した。</p>
<p>「子育て企業サポートチーム」の企業訪問により、「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」の取組を進め、時間単位の年休取得、不妊治療に係る休暇、短時間勤務等の柔軟な制度導入と、男女が共に働きやすい職場環境づくりを進めます。</p>	<p>◆子育てにやさしい職場づくり事業</p> <p>(1) 子育てにやさしい職場づくりを進める企業の気運の醸成</p> <p>ア 中小企業応援隊、京都ジョブパークの企業支援コンサルティングチーム及び府職員の約300人で構成する子育て企業サポートチームを結成し、府内企業への訪問を通じて、国や府の子育て支援制度を周知した。</p> <p style="text-align: center;">企業訪問件数 14,958社</p> <p>イ 子育てにやさしい職場環境づくりに向けた具体的行動を企業経営者が従業員に対して宣言し、実行する子育て環境日本</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>一に向けた職場づくり行動宣言の取組を実施した。</p> <p>職場づくり行動宣言を行った企業数 1,642社</p> <p>(2) 子育てにやさしい職場づくりを実施する企業等への支援（多様な働き方推進事業費補助金）</p> <p>子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の実現に向け、府内中小企業等が実施する時間単位の年次有給休暇制度の導入など、職場の環境改善に必要となる経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 55社 交 付 額 19,463千円</p> <p>(3) テレワーク導入支援緊急補助事業</p> <p>従業員に対し新たにテレワークを実施する府内中小企業等を対象に、テレワークの導入及び利用促進に要する経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 457社 交 付 額 108,087千円</p> <p>(4) 子育てにやさしい職場づくりに資するサービスの提供企業等への支援</p> <p>子連れコワーキングスペースの設置・運営など、子育てにやさしい職場環境づくりに役立つサービスメニューを府内企業等へ提供する事業者のスタートアップを支援した。</p> <p>交付企業数 4社 交 付 額 5,896千円</p> <p>(5) 子育てにやさしい職場づくり実践企業の情報発信</p> <p>ア 実践企業と求職者をつなぐ「子育てジョブ博」の開催</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(ア) 子育てジョブ博（社員の奨学金返済を支援するリクルートフェア）</p> <p>日 時 令和3年7月31日（土） 10：00～13：00</p> <p>会 場 京都経済センター</p> <p>出 展 社員の学生時代の奨学金の返済を支援する京都企業23社</p> <p>対 象 令和4年3月大学等卒業予定者</p> <p>内 容 合同企業説明会 参加者数 20人</p> <p>(イ) 社員を大切にするジョブ博</p> <p>日 時 令和3年12月9日（木） 10：00～15：00（Web） 令和3年12月12日（日） 10：30～15：30（対面）</p> <p>会 場 Web会場及び国立京都国際会館</p> <p>出 展 社員の奨学金支援制度や資格取得制度、社内託児所があるなど、ワークライフバランスの取れた社員想いの企業 30社</p> <p>対 象 一般求職者、大学生（インターンシップ希望者を含む）</p> <p>内 容 合同企業説明会 参加者数 190人</p> <p>イ Webサイトを活用した実践企業の情報発信 発信企業数 14社</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>子育てにやさしい職場づくりを進めるため「ワークチェンジ塾」を開設し、経営者・男性社員などを対象にした意識改革の合同研修会を開催するとともに、男性社員の育児休業取得促進やワーク・ライフ・バランスを考慮した人事評価制度の導入を支援します。</p>	<p>◆男性育休促進事業 （「ワークチェンジ塾」の開催） 京都府内の中小企業を対象に、若手社員や人事・総務担当者等が参加して男性育休の取得促進を図るセミナーを開催し、育休を取得しやすい職場づくりを支援した。</p> <p>開催回数 7回 参加者数 延べ76人</p>
<p>若者向けの「ライフデザインカレッジ」を創設し、SNS等を活用し、結婚や子育てに関する支援制度等を発信するとともに、若者が、就学、仕事、結婚、子育てなどのトータルの人生設計を早期に考え、多様なライフデザインを自ら選択することができるよう、ワークショップや仕事と子育ての両立体験インターンシップなどの機会を提供します。</p>	<p>◆子育て環境日本一推進戦略事業 （京都若者ライフデザイン推進事業） 若者（大学生や企業の若手社員）が人生設計を考えるきっかけづくりのため、ワークショップや仕事と子育てを両立している家庭との交流等、体験的に学ぶプログラムを実施した。</p> <p>両立体験プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期プログラム参加者 24人 ・短期プログラム参加者 471人 <p>ワークショップ開催数 延べ25校・団体 ワークショップ受講者数 1,462人</p> <p>仕事と育児の両立体験事業 参加企業数 22社</p>
<p>府立医科大学附属病院においてNICU（新生児集中治療室）を増床するとともに、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院に加えて「総合周産期母子医療センター」に指定するなど、周産期医療ネットワークを拡充します。</p>	<p>◆NICUの増床については、令和元年度に6床から9床に増床し、事業完了済み。</p> <p>◆令和3年8月1日「総合周産期母子医療センター」に指定。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「不妊治療総合支援システム」を確立し、男性の不妊治療に係る支援の拡充など不妊治療に係る経済的負担の軽減に加え、特定不妊治療に係る通院交通費の負担軽減制度を創設するとともに、企業等における不妊治療休暇制度の導入を支援します。</p>	<p>◆子育て環境日本一推進戦略事業 (子育てしやすい地域・まちづくり)</p> <p>ア 不妊治療給付等事業 一般不妊治療(保険適用治療、人工授精、不育症治療)及び特定不妊治療(体外受精・顕微授精等)への助成、通院交通費に対する助成等を実施し、患者負担の軽減を図った。</p> <p>治療費助成件数 7,208 件 通院交通費助成件数 419 件</p> <p>イ 多胎妊婦健康診査支援事業 市町村が実施する多胎妊婦への追加健診費用を補助する事業に対し、助成を行った。</p> <p>実施市町村 18 市町村</p> <p>◆子育てにやさしい職場づくり事業</p> <p>(1) 子育てにやさしい職場づくりを進める企業の気運の醸成</p> <p>ア 中小企業応援隊、京都ジョブパークの企業支援コンサルティングチーム及び府職員の約300人で構成する子育て企業サポートチームを結成し、府内企業への訪問を通じて、国や府の子育て支援制度を周知した。</p> <p>企業訪問件数 14,958 社</p> <p>イ 子育てにやさしい職場環境づくりに向けた具体的行動を企業経営者が従業員に対して宣言し、実行する子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の取組を実施した。</p> <p>職場づくり行動宣言を行った企業数 1,642 社</p> <p>(2) 子育てにやさしい職場づくりを実施する企業等への支援(多様な働き方推進事業費補助金)</p> <p>子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の実現に向け、府内中小企業等が実施</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>する時間単位の年次有給休暇制度の導入など、職場の環境改善に必要となる経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 55社 交 付 額 19,463千円</p> <p>(3) テレワーク導入支援緊急補助事業</p> <p>従業員に対し新たにテレワークを実施する府内中小企業等を対象に、テレワークの導入及び利用促進に要する経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 457社 交 付 額 108,087千円</p> <p>(4) 子育てにやさしい職場づくりに資するサービスの提供企業等への支援</p> <p>子連れコワーキングスペースの設置・運営など、子育てにやさしい職場環境づくりに役立つサービスメニューを府内企業等へ提供する事業者のスタートアップを支援した。</p> <p>交付企業数 4社 交 付 額 5,896千円</p> <p>(5) 子育てにやさしい職場づくり実践企業の情報発信</p> <p>ア 実践企業と求職者をつなぐ「子育てジョブ博」の開催</p> <p>(ア) 子育てジョブ博（社員の奨学金返済を支援するリクルートフェア）</p> <p>日 時 令和3年7月31日（土） 10：00～13：00</p> <p>会 場 京都経済センター</p> <p>出 展 社員の学生時代の奨学金の返済を支援する京都企業 23社</p> <p>対 象 令和4年3月大学等卒業予定者</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>内 容 合同企業説明会 参加者数 20人</p> <p>(イ) 社員を大切にするジョブ博</p> <p>日 時 令和3年12月9日(木) 10:00~15:00(Web) 令和3年12月12日(日) 10:30~15:30(対面)</p> <p>会 場 Web会場及び国立京都国際会館</p> <p>出 展 社員の奨学金支援制度や資格取得制度、社内託児所があるなど、ワークライフバランスの取れた社員想いの企業 30社</p> <p>対 象 一般求職者、大学生 (インターンシップ希望者を含む)</p> <p>内 容 合同企業説明会 参加者数 190人</p> <p>イ Webサイトを活用した実践企業の情報発信 発信企業数 14社</p>
<p>女性のM字カーブを解消するため、「在宅ワーク」「共同サテライトオフィス勤務」などを段階的に進め、企業への就職につなげる新しいビジネスモデルとして、「ホップ・ステップ・ジャンプ型就業プロジェクト」を創設し、子育て期からの仕事復帰を支援します。</p>	<p>◆子育てにやさしい職場づくり事業</p> <p>(1) 子育てにやさしい職場づくりを進める企業の気運の醸成</p> <p>ア 中小企業応援隊、京都ジョブパークの企業支援コンサルティングチーム及び府職員の約300人で構成する子育て企業サポートチームを結成し、府内企業への訪問を通じて、国や府の子育て支援制度を周知した。</p> <p>企業訪問件数 14,958社</p> <p>イ 子育てにやさしい職場環境づくりに向けた具体的行動を企業経営者が従業員に対して宣言し、実行する子育て環境日本</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>一に向けた職場づくり行動宣言の取組を実施した。</p> <p>職場づくり行動宣言を行った企業数 1,642社</p> <p>(2) 子育てにやさしい職場づくりを実施する企業等への支援（多様な働き方推進事業費補助金）</p> <p>子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の実現に向け、府内中小企業等が実施する時間単位の年次有給休暇制度の導入など、職場の環境改善に必要となる経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 55社 交 付 額 19,463千円</p> <p>(3) テレワーク導入支援緊急補助事業</p> <p>従業員に対し新たにテレワークを実施する府内中小企業等を対象に、テレワークの導入及び利用促進に要する経費に対し助成した。</p> <p>交付企業数 457社 交 付 額 108,087千円</p> <p>(4) 子育てにやさしい職場づくりに資するサービスの提供企業等への支援</p> <p>子連れコワーキングスペースの設置・運営など、子育てにやさしい職場環境づくりに役立つサービスメニューを府内企業等へ提供する事業者のスタートアップを支援した。</p> <p>交付企業数 4社 交 付 額 5,896千円</p> <p>(5) 子育てにやさしい職場づくり実践企業の情報発信</p> <p>ア 実践企業と求職者をつなぐ「子育てジョブ博」の開催</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(ア) 子育てジョブ博（社員の奨学金返済を支援するリクルートフェア）</p> <p>日 時 令和3年7月31日（土） 10：00～13：00</p> <p>会 場 京都経済センター</p> <p>出 展 社員の学生時代の奨学金の返済を支援する京都企業 23社</p> <p>対 象 令和4年3月大学等卒業予定者</p> <p>内 容 合同企業説明会 参加者数 20人</p> <p>(イ) 社員を大切にするジョブ博</p> <p>日 時 令和3年12月9日（木） 10：00～15：00（Web） 令和3年12月12日（日） 10：30～15：30（対面）</p> <p>会 場 Web会場及び国立京都国際会館</p> <p>出 展 社員の奨学金支援制度や資格取得制度、社内託児所があるなど、ワークライフバランスの取れた社員想いの企業 30社</p> <p>対 象 一般求職者、大学生 （インターンシップ希望者を含む）</p> <p>内 容 合同企業説明会 参加者数 190人</p> <p>イ Webサイトを活用した実践企業の情報発信 発信企業数 14社</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「地域の働く場創出・育成プロジェクト」を創設し、アクセラレーションプログラムのほか、</p> <p>▷地域資源を生かした商品づくりや農家民宿・農家レストランなどの小さな仕事興しをはじめ、伝統産業の商品開発力向上に向けた「NEO KOUGEI」の製造など、地場産業の成長を支援します。</p> <p>▷子どもが元気に遊び回れる公園や子育て中の方がテレワークできる機能を有した「子育てにやさしい企業団地」の整備を促進し、企業立地を進めます。</p>	<p>◆京都作家マーケット開拓支援事業</p> <p>令和元年12月にオープンした上海「KYOTO HOUSE」を起点に多様なビジネス展開を仕掛け、これまでの取組成果を生かしながら「KOUGEI」マーケットを拡大するための様々な交流機会を創出した。</p> <p>(1) 上海「KYOTO HOUSE」を拠点とした展示販売等</p> <p>主に中国系企業や富裕層向け新商品プロデュース、販路拡大・商談に対する支援を実施するとともに、店舗運営主体である复星国際有限公司等との相互交流を進めることで、京都の工芸品買付額の増加や別地域への店舗開設など、新たな販路開拓へとつなげた。</p> <p>買取実現事業者数 86 事業者 買付額 38,681,820 円</p> <p>(2) 企画展示、商談会等</p> <p>アート&クラフト関係のイベントが集中的に開催された令和4年3月に、京都の若手職人等の作品を国内外のバイヤー等に紹介する展示販売商談会を開催し、新規市場開拓や新商品開発等に取り組む職人たちを支援した。</p> <p>来場者数 1,478 名 商談件数 2,221 件</p> <p>(3) シンポジウム</p> <p>大学と連携した取組として、工芸の世界で様々な取組を行う職人等とともに、自然環境やプロダクトデザイン、教育、職人文化など、工芸をめぐる事柄について議論を行い、「KOUGEI」を起点に未来の社会像を捉え、次のアクションを起こす機会を創出した。</p> <p>参加者数 335 名</p> <p>(4) 新たな商流を目指すための相互交流促進</p> <p>「KOUGEI」分野の新たな商流をつくるため、多様な相互交流の場を創出し、もの</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>づくりに関わる事業者のビジネスにつなぐ取組を通年で展開した。</p> <p>参画事業者数 77 事業者</p> <p>◆次世代職人育成事業 (職人アカデミー開催事業)</p> <p>専門家による商品開発やブランド創出の支援をはじめ、地域や業種を超えた作り手との交流やマッチングを促進し、「集い」「作り」「伝える」力を磨く場づくりを実施した。</p> <p>プログラム数 27 件 参加者数 延べ 501 人</p> <p>(新堀川魅力創造事業)</p> <p>堀川新文化ビルディングを活用し、伝統工芸品の作品展やワークショップを開催した。</p> <p>作品展出展数 54 品 来場者数 約 670 人</p> <p>(京ものクオリティ市場創出事業)</p> <p>国内外での販路開拓を目指す事業者が、国内外の市場に精通したプロデューサー等との連携の下、海外の販売代理店を通じたマーケット開拓、マーケットニーズを踏まえた商品開発の支援、海外市場向け販路開拓やEコマースを活用した伝統工芸品の販売促進を実施した。</p> <p>支援件数 59 件</p> <p>◆若者等就職・定着総合応援事業</p> <p>(1) 就職困難な若者等への支援</p> <p>就職の難しい若者等を対象に、人手不足が顕著な分野の企業と連携し、基礎訓練及び実地訓練から就職・定着支援までの4箇月間の伴走支援を実施した。</p> <p>訓練受講者数 37 人 訓練修了者数 35 人 就職者数 22 人</p> <p>(2) 早期離職した若者等への支援</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>新卒離職「3年の壁・再チャレンジプロジェクト」を創設し、新卒3年以内の離職など早期離職者について、インターンシップの実施や研修会の開催など、ブランクを空けない就業復帰を支援することで「安定就業」を進めます。</p>	<p>適性や職場への理解が不足していたこと等により早期離職した者を対象に、必要に応じ、インターンシップ活用等の支援を行った上で、マッチングを実施した。</p> <p>利用者数 1,489人</p> <p>(3) 京都わかもの就職支援等推進事業</p> <p>京都府若者の就職等の支援に関する条例に基づく計画の認定を受けた就業支援事業を行うNPO等を支援するため、若者の自立・就労に向けた活動に対して助成した。</p> <p>交付団体数 9団体</p> <p>交付額 12,302千円</p> <p>◆STOP氷河期・学生就職応援事業</p> <p>(1) インターンシップの推進による学生の業界研究支援</p> <p>ア 学生と府内企業の交流促進</p> <p>学生就職センターの運営や府内企業との出会いの場となる「KYOTO業界研究フェスタ」の開催等により、学生と京都の企業との交流を促進した。</p> <p>インターンシップ等の実施人数 1,101人</p> <p>京都インターンシップナビ掲載企業数 510社</p> <p>イ 有償インターンシップ補助金</p> <p>学生の有償インターンシップを受け入れる企業に対する助成を通じ、学生の業界研究を支援した。</p> <p>交付件数 4社</p> <p>交付額 336千円</p> <p>(2) 未内定者の就職支援</p> <p>ア 未内定者向け合同企業説明会の開催</p> <p>未内定の高校生・大学生向けの合同企業説明会を開催し、府内企業とのマッチングの場を提供した。</p> <p>参加者数 96人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>イ 未内定者の相談対応 カウンセリングや面接対策の実施等、就職に向けたきめ細やかな伴走支援を実施し、未内定者の就職を支援した。 学生就職センター延べ相談者数 4,653人 就職内定者数 1,892人</p> <p>(3) 就職支援協定締結大学と連携した学生の府内企業への就職促進</p> <p>ア モデル事業の実施 低年次から卒業年次までの段階的なキャリア教育を通じて学生の視野を広げ、府内企業への就職を促進させるモデル事業を実施した。 モデル事業実施大学数 6大学 京都ジョブパーク新規登録者数 885人</p> <p>イ 学内合同企業説明会等の実施 学内合同企業説明会や各種就活セミナーの実施など、就職支援協定締結大学と連携した学生の府内企業就職促進に向けた取組を推進した。 京都ジョブパーク新規登録者数 1,473人</p> <p>(4) 府内高校生の就職・定着等支援</p> <p>ア 進路指導教員及び保護者対象セミナーの開催 府内高校の進路指導教員及び保護者等を対象に府内企業をより深く知るためのセミナーを開催した。 セミナー実施回数 4回 参加者数 13人</p> <p>イ 卒後調査の実施 卒業生の実態調査を実施し、卒業生の早期離職防止・定着、再就職を支援した。 回答者数 1,161人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>子育てにやさしい職場環境づくりを提供するビジネスモデルとして、「子育てにやさしい職場環境づくりサービス」の創出を支援します。</p>	<p>◆子育てにやさしい職場づくり事業 (子育てにやさしい職場づくりに資するサービスの提供企業等への支援)</p> <p>子連れコワーキングスペースの設置・運営など、子育てにやさしい職場環境づくりに役立つサービスメニューを府内企業等へ提供する事業者のスタートアップを支援した。</p> <p>交付企業数 4社 交付額 5,896千円</p>

「府民躍動」きょうとチャレンジの取組状況

【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標	実績数値 (達成率：%)
趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	%	72.6 (2019年度)	80.0	80.0	68.9 (86.1)
高齢者の有業率	%	25.9 (2017年)	31.0 (2022年)	—	次回調査 2022年実施
仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合	%	52.2 (2019年度)	70.0	70.0	56.0 (80.0)
ワーク・ライフ・バランス認証企業数（累計）	社	407	650	550	541 (98.4)

【令和3年度実績】

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
「地域別健康課題克服プロジェクト」を創設し、3大生活習慣病である、がん・心疾患・脳血管疾患等を減少させるため、健診データやレセプトデータ等のビッグデータなどから地域の健康課題や個人の健康阻害要因を明らかにし、健康づくりから安心できる医療提供体制の構築まで、市町村等と共に対策を講じます。	<p>◆健康長寿・データヘルス推進事業</p> <p>(1) 糖尿病重症化予防対策事業 糖尿病重症化予防の保健指導に従事する専門職不足解消のため、府医師会、府栄養士会が実施する研修会を支援し、人材育成と人材登録を実施した。 人材育成研修会受講者 延べ768人 地域保健指導人材の登録者 延べ131人</p> <p>(2) きょうと健康づくり実践企業認証制度事業 働き盛り世代の検診受診率の向上や健康づくりを推進するため、がん検診や健康づくり活動に取り組む府内企業を、きょうと健康づくり実践企業として認証した。 認証企業 68社</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「生涯現役クリエイティブセンター（仮称）」を設立し、高齢者が年齢にかかわらず、その技術や能力を農業や商工業・福祉などの様々な分野で発揮できるよう、仕事や生活・健康増進に係る情報提供から相談・マッチング、産業界や大学等と連携した研修・活躍の場づくりまでトータルにコーディネートします。</p>	<p>◆生涯現役活躍人材育成支援プロジェクト事業</p> <p>(1) 京都府生涯現役クリエイティブセンターの設置 開設日 令和3年8月1日 場 所 京都経済センター3階</p> <p>(2) 企業・従業員に対する相談・支援の実施 主にミドル・シニア層の在職者を対象に、セカンドキャリアを見据えた自身のキャリアの振り返りや、今後のキャリアプランの構築を支援する相談を実施した。 相談件数 145件</p> <p>(3) 社会人向けリカレント教育の実施 主にミドル・シニア層の在職者を対象に、産学公連携による産業人材の育成や地域課題解決の担い手育成等を目的としたリカレント研修を実施した。</p> <p>ア 個別研修 コース数 前期・後期各6コース 開催時期 前期 10月～2月 後期 1月～3月 参加者数 297人</p> <p>イ エクセレント講座 開催回数 3回 参加者数 450人</p> <p>ウ 転職者向け個別セミナー等 開催回数 10回 参加者数 299人</p> <p>(4) リカレント教育情報の一元化と発信 センターで提供する社会人向けリカレント教育を中心に、府内大学等関係機関で実施するリカレント教育情報等を利用者に発信した。 利用者数 1,595人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「女性活躍応援塾(仮称)」を開設し、地域で活動する団体・個人の発掘・育成を行うほか、活動情報を一元化して発信し、地域で活躍する女性を総合的に支援します。</p>	<p>◆女性活躍応援塾事業 経験豊富な女性活躍プロデューサーによる伴走支援のもと、塾生となった団体や個人の地域活動への参画を支援した。 参加者数 3団体、1個人</p> <p>◆輝く女性応援補助事業 地域活動を始めたい女性や、地域活動を継続・発展させたい女性を対象に、地域活性化等の取組を支援した。 補助件数 17件 補助金額 4,054千円</p>
<p>「京都式農福連携・6次産業化プロジェクト」を創設し、障害者の就農・就労人材を育成するチャレンジ・アグリ認証の上級課程を構築するとともに、農福連携製品の6次産業化やブランド化を支援し、京都式農福連携事業を生かした農業分野での就労を促進します。</p>	<p>◆京都式農福連携事業 きょうと農福連携センターを中心に、農福連携を通じて地域社会づくりを行う事業所に対する補助や、農産物等を販売する「マルシェ」の開催、農業技術等に係るアドバイザーの派遣、就農促進や意欲向上のためのキャリアパス制度の運営等を行った。 京都式農福連携補助金 11事業所 マルシェ開催 12回 アドバイザー派遣 10回 チャレンジアグリ認証修了 8人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「スポーツのメッカづくりプロジェクト」を創設し、</p> <p>▷府立京都スタジアムにおいて、府民がハイレベルなスポーツを身近に体感でき、青少年の夢とあこがれの舞台となるよう、プロスポーツのほか国際的、全国的な試合や高校、大学スポーツの決勝戦等を誘致・開催します。</p> <p>▷府立京都スタジアムや各地域がそれぞれのポテンシャルを生かして、様々なスポーツを行い、スポーツの裾野を広げるとともに、ボルダリングやニュースポーツ、eスポーツなどのメッカとなる取組を進めます。</p>	<p>◆京都スタジアム管理事業</p> <p>京都スタジアムにおいて国際的、全国的な試合等を開催</p> <p>(1) MS&AD CUP 2021 なでしこジャパン国際親善試合の開催 開催日 令和3年7月14日</p> <p>(2) 皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会決勝戦の開催 開催日 令和4年2月27日</p> <p>(3) スピードクライミング第4回スピードジャパンカップの開催 開催日 令和4年3月6日</p> <p>◆京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業</p> <p>京都スタジアムと連携したにぎわいの創出 亀岡市が実施する桂川舟運歴史体験・展示施設の利活用に係る試行事業を支援した。 ※子どもたちを対象としたアーバンスポーツの体験会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>◆ニュースポーツ・eスポーツ競技環境整備支援事業</p> <p>京都スタジアムを活用した大会等の開催や人材育成に取り組む事業に対して助成した。</p> <p>交付先 京都eスポーツ振興協議会 事業内容 京都eスポーツ文化祭の開催</p> <p>交付先 (株)PKM 事業内容 第1回キッズチェイスタグ日本選手権の開催 (参加者数 8,422人)</p> <p>※eスポーツの大規模大会 4,116人(オンライン参加及び試聴含む)</p> <p>※各種eスポーツに係るセミナー 309人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「産学公連携海外人材活躍ネットワーク」を創設し、研究者等の高度外国人材や介護・農業など特定技能者等の外国人、留学生が安心して活動し暮らせるための受入体制を構築し、海外ネットワークを生かした人材確保から、インターナショナルスクールの誘致や居住環境面の相談、地域の多文化共生まで、オール京都でサポートします。</p>	<p>◆外国人材受入・活躍促進事業</p> <p>(1) 外国人材の確保・定着に向けたネットワークの運営</p> <p>国や市町村、経済・労働関係団体、外国人との共生を支援する団体等で構成する「産学公連携海外人材活躍ネットワーク」を運営し、構成団体における外国人材受入れや多文化共生に係る取組・現状等について取りまとめを実施した。</p> <p>(2) 中小企業の外国人材受入・定着に向けたサポート体制の構築</p> <p>外国人材の募集・採用、在留資格、労働環境整備に係る相談に対応するため、京都ジョブパーク内の京の留学生支援センターに「外国人採用アドバイザー」を配置</p> <p>外国人材の採用に積極的な求人の開拓 40件</p> <p>◆多文化共生推進事業</p> <p>(1) 京都府外国人住民総合相談窓口の運営</p> <p>ア 外国人住民に対する生活情報の提供・相談を行う「京都府外国人住民総合相談窓口」を運営</p> <p>対応言語 23言語 相談件数 1,292件</p> <p>イ 外国人住民が増加している市町村を中心に出張相談を実施</p> <p>実施回数 9回</p> <p>(2) 府内における日本語教育の総合的な体制づくり</p> <p>「地域における日本語教育推進プラン」に基づき、地域における日本語教育の取組を総合的に推進した。</p> <p>ア 日本語教室空白地域における新たな教室の開設支援</p> <p>新たな日本語教室を開設するために、学習支援者の養成講座を開催した。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>開催地域 京丹波町 学習支援者養成数 16人</p> <p>イ 初期日本語教育の広域的な展開のための研修機会の提供 日本語を初めて学ぶ外国人住民の学習機会を確保するため、日本語教室の学習支援者が初期日本語教育を学ぶ場を対面形式とオンライン形式のハイブリットで設けた。 参加者数 35人</p> <p>ウ 市町村、地域日本語教室及び企業等が参加する意見交換会の実施</p> <p>(3) 「やさしい日本語」活用・普及促進事業 外国人住民とのコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の行政機関での活用と府民への普及を促進した。</p> <p>ア 市町村向けオンライン情報交換会 開催回数 4回 参加者数 21人</p> <p>イ 府民向け講習会（オンライン含む） 開催回数 7回 参加者数 92人</p> <p>(4) 多言語対応推進事業 外国人住民に対する円滑な窓口対応を推進するため、府庁舎に多言語のオンライン通訳サービスや通訳機器を導入した。 配備台数 8台</p>
<p>道路や公園・河川などで、楽しく歩きたくなるネットワークや健康プログラム等を市町村やNPO等と連携して提供する「歩きたくなる健康まちづくりプロジェクト」の取組を進めます。</p>	<p>次年度以降対応</p>

「文化創造」きょうとチャレンジの取組状況

【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標	実績数値 (達成率：%)
府内のアートフェア等に 参加する若手アーティスト (40歳以下) の数	人	108	160	140	129 (92.1)
府内のアートフェア等に おける販売額	万円	2,515	33,000	21,000	31,485 (149.9)
文化・芸術に関わりを持つ (鑑賞・体験含む) 人の割合	%	57.8	70.0	70.0	62.0 (88.6)
歴史的な文化遺産や文化 財などが社会全体で守られ、 活用されていると思う 人の割合	%	84.9 (2019年度)	90.0	90.0	82.9 (92.1)

【令和3年度実績】

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
府立高校において、「京の文化継承・ 価値創造推進校」を指定し、地域文 化のフィールドワークや着物の着 付けなどの体験活動に加え、ユネス コ無形文化遺産に登録された和食 について学ぶ授業、留学生との交流 における宇治茶の呈茶、京野菜を使 った新しいレシピの提案など、京都 の本物の文化を次世代に継承し新 たな価値を生み出す取組を進めま す。	<p>◆高校生伝統文化事業</p> <p>府立高等学校において、総合的な学習の時間 等を活用し、茶道や華道、古典に関する講義や 作法を通して、規範意識や思いやりの心を学ぶ 授業を実施した。</p> <p>実施校</p> <p>茶道 清明高等学校ほか 46 校 華道 山城高等学校ほか 28 校 古典 山城高等学校ほか 25 校 京の文化継承・価値創造推進校 鴨沂高等学校ほか 15 校</p> <p>◆宇治茶新展開セカンドステージ事業 (宇治茶セミナーの開催)</p> <p>府内の留学生等を対象に、宇治茶の魅力を 伝えるセミナーを開催した。</p> <p>開催回数 1 回 参加人数 44 人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>◆京の食文化情報発信事業</p> <p>京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京都府の農林水産物や京の食文化の魅力を学び・体験する場を提供し、府内産農林水産物の需要拡大を図った。</p> <p>来館者数 5,909名</p> <p>京の食文化の語り部による魅力発信活動</p> <p>語り部 4人</p> <p>活動実績延べ 56日間</p>
<p>「障害者アート創造・発信プロジェクト」を創設し、</p> <p>▷文化芸術活動を行う障害者のアート作品を様々な機会を活用して販売したりポストカードとして商品化するなどの取組を進めます。</p> <p>▷障害者アートについて、新しい作家の発掘を含め、その創作活動とともにデジタルにより記録・保存し、広く国内外に発信します。</p> <p>▷きょうと障害者文化芸術推進機構と府内の芸術大学とのコラボレーションによる作品展等を開催します。</p>	<p>◆障害者文化・スポーツ振興事業 (自立型障害者アート推進事業)</p> <p>「きょうと障害者文化芸術推進機構」の運営や芸術作品のアーカイブ化を行い、文化芸術活動を推進した。</p> <p>障害者文化芸術展の企画・開催</p> <p>来場者数 1,951人</p> <p>「共生の芸術祭 旅にでること、その準備」</p> <p>来場者数 1,170人</p> <p>とっておきの芸術祭</p> <p>来場者数 2,363人</p> <p>アートサポーター等人材育成 3回 延べ 36人受講</p> <p>アーカイブ</p> <p>「アートと障害のアーカイブ・京都」</p> <p>作家数 18人</p>
<p>府内各地で「ミュージックキャンプ」を開催し、その成果を「府民総合奏」として府立京都スタジアムで発表し、音楽の裾野を拡大します。</p>	<p>次年度以降対応</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「文化財保存・活用促進プロジェクト」を創設し、</p> <p>▷文化財の価値や継承の大切さが広く地域の人々に伝わるよう、社寺等の文化財において地域の特色を生かした文化に親しむ取組を支援するなど、文化財に親しむ機会を増やすことで、保存に対する認識も高まるという、文化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出します。</p> <p>▷文化財の公開等を支援する、文化財の専門知識を有した人材を養成します。</p> <p>▷文化財の高精細画像化やVR、AR等の利用を図り、観光・教育資源として活用するほか、関西文化学術研究都市において、触れることのできるクローン文化財の展示・作製の拠点を整備し、アジアの文化財センターをめざします。</p>	<p>◆文化財活用支援事業</p> <p>社寺等の文化財を活用し、個性豊かな地域の文化資源の魅力を活かし、地域における文化に親しむ取組を行う団体を支援した。</p> <p>助成件数 9件</p> <p>◆令和元、2、3年度に「文化財コーディネーター」を養成済み。</p> <p>令和元年度 22人 令和2年度 — (新型コロナにより中止) 令和3年度 41人 養成人数 63人</p>
<p>文化庁と連携し、暮らしの中に息づく伝統文化や生活文化を守り伝えるため、「地域文化継承プロジェクト」として、地域の祭りや伝統芸能の担い手確保に向け、大学生など外部人材の活用の仕組みを創設します。</p>	<p>◆地域文化活性化推進事業</p> <p>地域の伝統芸能や行催事等地域の文化資源の魅力を高め、文化観光の推進による地域文化振興の仕組みづくりを支援した。</p> <p>(記録作成事業)</p> <p>地域の民族芸能映像の作成</p> <p>普及映像 6本 記録映像 12本</p> <p>専門人材による地元との連携・調整</p> <p>文化観光サポーター 4名配置</p> <p>(後継者養成事業)</p> <p>有識者による講演</p> <p>海の京都 令和3年7月26日 参加者 12人 保存会 16人</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>森の京都 令和3年6月28日 参加者 8人 保存会8人</p> <p>お茶の京都 令和3年7月19日 参加者 5人 保存会5人</p> <p>オンライン体験 福知山市民族芸能オンライン体験 参加者19人</p> <p>森の京都文化講座 参加者25人</p> <p>個別相談につなげるPR 令和3年7月～令和4年3月 FM丹波 計8回 (用具等整備事業) 地域の民族芸能衣装を新調</p>
<p>「京都国際アートフェア」の開催により、世界で活躍する一流アーティストの作品や京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会を提供し、日本の現代アートの価値向上やクラフトの世界展開を後押しします。</p>	<p>◆京都作家マーケット開拓支援事業 文化を活かした新たな産業創出や産業界と連携した新たな文化マーケットの創出のため、国際的なアートフェア「Art Collaboration Kyoto」や作家自らが販売等を行う見本市「ARTISTS' FAIR KYOTO 2022」、若手作家の選抜展覧会「Kyoto Art for Tomorrow 2022-京都府新鋭選抜展-」等を実施した。 「Art Collaboration Kyoto」の開催 開催場所 国立京都国際会館他 開催日 令和3年11月5日～7日 入場者数 13,910人</p> <p>◆文化マーケット創出事業 (1) ARTISTS' FAIR KYOTO 2022 開催場所 京都文化博物館 別館他 開催日 令和4年3月5日～3月6日 入場者数 9,706人 (2) Kyoto Art for Tomorrow</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>r o w 2 0 2 2 - 京 都 府 新 鋭 選 抜 展 - の 開 催</p> <p>開催場所 京都文化博物館 開催日 令和4年1月22日～2月6日 入場者数 17,448人</p> <p>(3) 京都アートラウンジの開催</p> <p>展覧会名 「ペールの光景」 開催場所 COCON KARASUMA 開催日 令和4年3月3日～3月13日 参加者数 875人</p>
<p>①VR、AR等を活用した地域の文化資源を体験できる文化発信・観光まちづくりの拠点「地域文化次世代情報発信・体験拠点」を整備します。</p>	<p>次年度以降対応</p>
<p>①府立文化芸術会館等、老朽化が進む既存文化施設の機能継承も踏まえ、様々な規模の劇場等が集積した「シアターコンプレックス」など、旧総合資料館跡地、植物園などの整備に取り組みます。</p>	<p>◆北山エリア整備推進事業</p> <p>事業手法等について、官民連携手法も想定して、様々なアイデアやノウハウを参考とするため、民間の視点から提案を受ける等、必要な検討を実施。</p>
<p>①「堀川アート&クラフトセンター（仮称）」を活用したクオリティーの高い多様なイベントの展開により、アート&クラフトの創造・発信を強化します。</p>	<p>◆次世代職人育成事業（新堀川魅力創造事業）</p> <p>堀川新文化ビルディングを活用し、伝統工芸品の作品展やワークショップを開催した。</p> <p>作品展出展数 54品 来場者数 約670人</p>

「新産業創造・成長」きょうとチャレンジの取組状況

【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目 標	実績数値 (達成率：%)
従業者1人当たりの付加価値額（製造業）	千円	15,168 (2018年)	21,000 (2023年)	18,600	2022年9月 公表予定
開業率	%	4.3 (2016年)	5.1 (2021年)	5.1	2022年6月 公表予定
海外ビジネスセンターを通じ新たに海外展開に取り組んだ企業数（累計）	社	10	100 (2019～ 2023年度)	60	82 (136.7)
農林水産業の産出額	億円	786 ※2013年～2017 年の5年間における 最大最小を除いた 3年平均	820 (2023年)	805	2023年3月頃 公表予定

【令和3年度実績】

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
めまぐるしく変化する未来社会を生き抜く力をはぐくむため、実社会という生きた教材から答えのない問いに挑む「課題解決型学習」等の機会の充実に向けて、企業や大学等とともに構成する産学連携型学習「京都『結(ゆい)』コンソーシアム(仮称)」により官民一体の教育を進めます。	次年度以降対応
「起業するなら京都・プロジェクト」を創設し、 ▷スタートアップ企業が単独では実現困難なビジネスアイデアを実現するアクセラレーションプログラムの取組（世界中の有能な人材が京都に	◆起業するなら京都・プロジェクト推進事業 (1) スタートアップ創出支援 ア 起業創出プログラムの実施 大学発、外国人、企業内など多様なスタートアップ企業を創出するためのプログラムを実施した。

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>3箇月程度滞在し、ピッチ会やアイデアソンの実施により投資を集める)を推進し、世界中から有能な人材や企業が集う仕組みをつくります。</p> <p>▷多様なニーズに対応したインキュベーション施設を供給します。</p> <p>▷創業支援、経営革新、販路開拓など、中小企業応援センターでトータルサポートします。</p> <p>▷小中学生がものづくり体験や科学技術に身近に触れることのできる機会の提供や、高校生を対象にした「ベンチャー講座」を開設します。</p>	<p>継続プログラム数 38件</p> <p>参加者数 632人</p> <p>イ アントレプレナー教育の実施 小・中学生を対象とした起業家教育プログラムを実施した。</p> <p>参加チーム数 6チーム</p> <p>参加者数 33人</p> <p>ウ 外国人のスタートアップ支援窓口の運営 外国人起業家、留学生が起業準備活動に必要な在留資格を得るための支援窓口を設置した。</p> <p>相談件数 72件</p> <p>スタートアップ・ビザ取得件数 3件</p> <p>エ アクセラレーションプログラムの実施 新事業の創出を集中的に支援するアクセラレーションプログラムを実施した。</p> <p>参加チーム数 3チーム</p> <p>オ 社会課題解決の取組への助成 社会課題の解決に資することを目的に、AIやIoT等のスマート技術を活用した新しいサービスや技術の開発を行うスタートアップ企業等に対して助成した。</p> <p>交付件数 7件</p> <p>交付額 5,415千円</p> <p>カ iPS細胞関連等研究開発支援 ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング等により広く寄附を募り、今後の需要拡大が見込まれるiPS細胞関連の産業化に向けて、公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団等に対して財政支援を行った。</p> <p>寄附額 47,880千円</p> <p>(2) スタートアップ・エコシステム推進体制整備</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>一般社団法人京都知恵産業創造の森をハブに、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会、大阪・ひょうご神戸コンソーシアムと連携体制を構築した。</p> <p>京都スタートアップ・エコシステム推進協議会開催回数 4回 (ワーキンググループ含む)</p> <p>京阪神連携プログラム件数 8件</p> <p>◆世界に伍するスタートアップ支援事業</p> <p>(1) 起業創出プログラム等の増設 スタートアップ企業の層を厚くするため、起業創出や成長支援のためのプログラムを増設した。</p> <p>増設プログラム数 35件 参加者数 1,229人</p> <p>(2) 大型資金調達ピッチ会の開催 大型資金を調達するために首都圏等の投資家や大企業等を招聘したピッチ会を開催した。</p> <p>開催回数 7回 登壇企業数 66社</p> <p>(3) 海外スタートアップ企業との相互交流 海外の起業家や支援者との交流プログラムを開催した。</p> <p>プログラム数 2件 参加企業数 18社</p> <p>◆中小企業総合応援事業</p> <p>(1) 中小企業応援隊事業 中小企業応援隊が中小企業や商店街等の強みや弱みを把握した上で、中小企業の経営安定や発展を支援するため、訪問コンサルティングを実施した。</p> <p>ア 中小企業応援隊の概要</p> <p>(ア) 構成</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況																														
	<p>商工会、商工会議所、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会及び公益財団法人京都産業 21 の経営指導を担当する職員を応援隊員として委嘱</p> <p>(イ) 隊員数 292 人</p> <p>イ 令和3年度訪問件数等</p> <table data-bbox="829 548 1197 907"> <tr> <td>実訪問企業数</td> <td>14,084 社</td> </tr> <tr> <td>延べ訪問件数</td> <td>43,959 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(業種別内訳)</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>12,525 件</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>4,168 件</td> </tr> <tr> <td>小売業</td> <td>10,081 件</td> </tr> <tr> <td>卸売業</td> <td>1,985 件</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>13,222 件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,978 件</td> </tr> </table> <p>◆金融・経営一体型支援体制強化事業 (中小企業知恵の経営ステップアップ事業)</p> <p>中小企業等の成長段階に応じた販売促進・設備更新・コスト削減等の経営改善につながる取組や創業・第二創業を支援するため、中小企業応援隊による訪問コンサルティングを通じた助成支援を実施した。</p> <table data-bbox="774 1288 1149 1377"> <tr> <td>交付件数</td> <td>674 件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>125,904 千円</td> </tr> </table> <p>◆京都産業立地促進事業 (京都産業立地戦略 21 特別対策事業)</p> <p>(1) 京都産業立地戦略 21 特別対策事業</p> <p>地域特性に応じた企業誘致を促進するため、企業の施設整備や地元雇用に対して助成した。</p> <table data-bbox="829 1713 1316 1904"> <tr> <td>交付企業数</td> <td>42 企業</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>1,784,398 千円</td> </tr> <tr> <td>投下固定資産額</td> <td>88,786,953 千円</td> </tr> <tr> <td>新規府内常用雇用者数</td> <td>415 人</td> </tr> </table>	実訪問企業数	14,084 社	延べ訪問件数	43,959 件	(業種別内訳)		製造業	12,525 件	建設業	4,168 件	小売業	10,081 件	卸売業	1,985 件	サービス業	13,222 件	その他	1,978 件	交付件数	674 件	交付額	125,904 千円	交付企業数	42 企業	交付額	1,784,398 千円	投下固定資産額	88,786,953 千円	新規府内常用雇用者数	415 人
実訪問企業数	14,084 社																														
延べ訪問件数	43,959 件																														
(業種別内訳)																															
製造業	12,525 件																														
建設業	4,168 件																														
小売業	10,081 件																														
卸売業	1,985 件																														
サービス業	13,222 件																														
その他	1,978 件																														
交付件数	674 件																														
交付額	125,904 千円																														
交付企業数	42 企業																														
交付額	1,784,398 千円																														
投下固定資産額	88,786,953 千円																														
新規府内常用雇用者数	415 人																														

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>今後、産業・教育分野において需要拡大が見込まれるVR・AR技術等について、企業活動の積極的な支援や「京都VR・AR拠点」の形成を行います。</p>	<p>◆京都クロスメディアパーク整備事業 (京都AR・VR技術活用促進事業)</p> <p>AR・VR等バーチャル技術の開発力向上や活用促進を図るため、府内外のXR開発事業者、ものづくり企業等の多様な中小事業者等で、バーチャル技術の活用策を検討するシンポジウムを実施し、XR技術活用促進のためのガイドブック・Webサイトを構築した。</p> <p>開催時期 令和3年11月29日～12月20日 (全3回)</p> <p>参加者数 45人</p>
<p>シェアリングエコノミーについて、音楽等のサービスから自動車、衣服など、物の利用サービスへと広がりつつあるサブスクリプション(定額)ビジネス分野も見据え、地域資源を生かした京都独自のビジネス展開を「シェアリングエコノミー促進プロジェクト」として、取組を進めます。</p>	<p>◆中小企業共同型ものづくり支援事業</p> <p>公益財団法人京都産業21を通じて、IoT等による中小企業連携・一体化(共同利用を前提とした最適な設備や必要な技術調査、運用ルール等の検討から、受注・設計・生産進捗管理等の情報、工作機械等の共有化まで)を促進し、中小企業の生産性・競争力アップを支援する助成事業を実施した。</p> <p>交付件数 9件</p> <p>交付額 140,000千円</p>
<p>オール京都の「高度人材育成プログラム」を策定し、ものづくりをはじめ各産業における研究開発人材などの育成、新卒者から管理職、経営者までのシームレスな研修をオール京都体制で実施するとともに、中小企業大と連携し、高度人材を育成します。</p>	<p>◆起業するなら京都・プロジェクト推進事業 (交流・連携促進事業)</p> <p>オープンイノベーションカフェ(KOIN)を核に、様々な分野の方々が交流、連携するイベントを開催した。</p> <p>開催回数 116回 (オンライン開催を含む)</p> <p>参加者数 延べ2,736人 (オンライン開催を含む)</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>◆次世代人材育成・産業創造事業</p> <p>中小企業大と連携し、経営幹部や管理者を対象として、組織を活性化させるリーダーを目指す研修を実施した。</p> <p>開催回数 5回 参加者数 11名</p>
<p>「Ma a S・α促進プロジェクト」を創設し、クラウドサービスの新たな展開について「M o b i l i t y (交通利用のスマート化)」だけでなく、「C o m m u n i c a t i o n (テレビ・Web会議)」や「F a c t o r y (工場)」などのあらゆる分野においても、こうしたサービスを活用し、新たなビジネスを創出します。</p>	<p>次年度以降対応</p>
<p>「ビッグデータ活用・京都観光交流圏周遊プロジェクト（以下「観光プロジェクト」という。）」を創設し、「京都市+府域+近隣府県」で相互に人が行きかう観光交流により、観光客の府全域への分散・周遊を促し、地域社会と観光とが共生できる社会づくりを進めます。</p>	<p>「観光プロジェクト」の取組として以下のとおり実施。</p> <p>◆「食の京都」推進事業</p> <p>(1) 生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上</p> <p>SNSで料理に関する動画を配信している者による地元料理や食材、観光スポットを紹介する記事及び動画を制作しWebで配信した。</p> <p>動画数 8本 記事数 12本</p> <p>(2) 「食の京都」の情報発信・誘客促進</p> <p>ア ファクトブックの作成・配布</p> <p>地域の食の魅力を語る「人」の活動をストーリーとして編集したファクトブックを作成し、メディアへの配布を実施した。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>イ メディアツアーの開催 メディアを招待し、府域の「食」の魅力を実際に体験してもらうことで、理解促進及び認知度向上を図った。</p> <p>(ア) お茶の京都及び竹の里・乙訓エリア 開催日 令和4年2月24日～25日 参加者 延べ3社 記事数 3社4本</p> <p>(イ) 海の京都エリア 開催日 令和4年3月5日～7日 参加者 1社 記事数 1社1本</p> <p>ウ 京都府文化観光大使による情報発信 京都府文化観光大使の発信力を活かし、府域の道の駅で販売されている地元産品等の魅力を紹介するファミツアーを実施し、ラジオ番組を通じて情報発信した。 開催日 令和3年10月7日、15日、28日 放送回数 4回</p> <p>エ メディアとの連携による情報発信 旅と食をテーマとした「もうひとつの京都」エリアの情報発信を行った。 記事数 2社2本</p> <p>オ 公益社団法人京都府観光連盟運営 Webサイト「食らし旅」での情報発信 記事数 14本</p> <p>◆「食の京都」推進事業</p> <p>(1) 「食の京都TABLE」整備支援事業 地域の観光・物流拠点として機能を強化するため、「食の京都TABLE」等の施設における食材加工・販売設備等の整備に係る取組を支援した。 採択件数 9件</p> <p>(2) Next「食の京都TABLE」拠点育成事業</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>「食の京都TABLE」拠点候補を育成するため、直売所等を対象に研修会を実施した。</p> <p>開催日 令和4年1月13日、19日、20日</p> <p>開催回数 6回</p> <p>内容 専門家派遣によるコンサルティング型研修</p> <p>(3) 「食の京都TABLE」展開事業</p> <p>錦市場「丹後TABLE」で「もうひとつの京都」のエリア毎に「食の京都」の特産品を展示販売する「食の京都」特選フェアを開催した。</p> <p>出展団体数 46団体</p> <p>出展商品数 173商品</p> <p>(4) 「食の京都TABLE」食材提案会開催事業</p> <p>京都レストランスペシャル企画参加店向けに府内産食材の提案動画をオンラインで配信した。</p> <p>実施期間 令和3年10月15日～令和4年3月31日</p> <p>参加店舗 180店舗</p> <p>◆文化観光推進事業</p> <p>(1) 文化観光連携ネットワークの構築・運営</p> <p>文化観光連携ネットワーク内で府内の文化施設等の情報交換を行うとともに、文化観光コンテンツの磨き上げや観光活用への環境整備のためのファムツアーを実施した。</p> <p>開催日 令和4年1月13日、14日</p> <p>参加者 4社</p> <p>記事数 2社3本</p> <p>(2) 文化観光ツアーの推進と情報発信</p> <p>JR東海と連携し、モデルツアーや首都圏での歴史文化講座を実施した。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>ア 寺社等の文化資源等を活用したモデルツアーの開催 開催日 令和3年10月30日 参加者 64人</p> <p>イ 歴史文化講座の開催 開催日 令和3年10月6日 開催場所 有楽町よみうりホール 参加者 538人</p> <p>◆京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト事業 (観光経営人材育成事業) 観光産業の労働生産性や稼ぐ力の向上を図り、経営の好循環を生むため、経営者向け段階別セミナーや従業員向け実務スキル向上セミナーを実施した。</p> <p>観光おもてなし人材育成セミナー参加者 71人</p> <p>観光経営入門セミナー参加者企業 (参加者) 18社(26人)</p> <p>観光経営ステップアップセミナー参加企業 (参加者) 17社(20人)</p> <p>観光経営セミナー実践編参加企業 (参加者) 11社(15人)</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「観光プロジェクト」を創設し、観光関連企業や行政、大学が参画する「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」から提供されるデータの活用や、大学連携によるスキルアップセミナーの実施等により、新たな観光需要に対応できる高い経営マネジメント力を有する高度観光人材を育成します。</p>	<p>◆ビッグデータ活用推進事業</p> <p>大学・研究機関、企業、行政等が参画する官民連携のプラットフォームである「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」において、データの利活用を促進し新たなサービスの創出や事業連携を通じ、地域課題の解決や産業活性化を図るため、課題別ワーキング活動やセミナー等をオンラインで実施した。</p> <p>全体会議開催回数 2回 参加者数 205人</p> <p>課題別ワーキング活動 開催回数 10回 参加者数 591人</p> <p>セミナー開催回数 2回 参加者数 55人</p> <p>◆京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト事業</p> <p>(観光経営人材育成事業)</p> <p>観光産業の労働生産性や稼ぐ力の向上を図り、経営の好循環を生むため、経営者向け段階別セミナーや従業員向け実務スキル向上セミナーを実施した。</p> <p>観光おもてなし人材育成セミナー参加者 71人</p> <p>観光経営入門セミナー参加者企業 (参加者) 18社 (26人)</p> <p>観光経営ステップアップセミナー参加企業 (参加者) 17社 (20人)</p> <p>観光経営セミナー実践編参加企業 (参加者) 11社 (15人)</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾における観光セミナー等の実施 令和4年1月末～3月末（77人） ・台湾・香港の観光情報メディアへのWeb記事掲載 令和4年1月（13,662ページビュー） ・タイの観光情報メディアへのWeb記事掲載 令和3年11月（27,904ページビュー） 令和4年3月（11,797ページビュー） ・多言語ホームページ、Facebook等SNSによる情報発信 イ 広域連携による誘客促進 他府県市や民間事業者と連携し、欧米等からの観光誘客を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪の観光情報メディアへのWeb記事掲載 令和4年3月（25,826ページビュー） ・観光プロモーション動画の制作 再生回数 258,019回 ・海外の旅行雑誌への記事掲載 令和4年3月（6ページ掲載） ウ Wi-Fi整備・多言語対応環境整備支援事業 交付件数 3件 (Wi-Fi整備のみ2件、多言語対応環境整備のみ1件) 交付額 365千円 (2) 欧米豪インバウンド誘客促進強化事業 観光消費額の高い欧米豪からの観光客をターゲットに、新型コロナウイルス感染症収束後の訪日誘客及び府域周遊に向けて、観光プロモーションを実施した <ul style="list-style-type: none"> ・在留外国人向け情報誌への特集記事掲載 令和4年2月（2ページ掲載） ・豪州・メルボルンにおける観光プロモーション 令和4年2月（270人参加）

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行会社のインバウンド向けWebサイトへの記事掲載や特設ページの開設 令和4年3月 (3) 海外からの教育旅行誘致促進事業 海外からの教育旅行誘致を推進するため各種プロモーションを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・海外の高等学校とのWeb学校交流 13校（台湾5校、韓国8校） ・海外旅行会社・教育関連団体向けオンライン商談会 日 時 令和3年3月 参加数 教育機関12校 （豪州8校、台湾4校） 旅行会社13社 （豪州2社、台湾11社） (4) 京都文化交流・コンベンション推進事業 MICE誘致の充実強化を図るため、公益財団法人京都文化コンベンションビューローが実施する国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等の取組に対して助成した。 国際会議開催件数 5件 参加者数 1,097人 （うち海外 355人）
<p>企業や大学等の研究機関と連携した「スマートアグリ・イノベーションセンター（仮称）」を設立し、地域の実情に応じてAIやIoTによるセンシングデータに基づく農業、漁業、養殖業及び家畜の生産管理や、森林の境界情報及び木材情報の見える化等の取組を本格化させるとともに、ロボットを活用した生産活動の自動化を進めます。</p>	<p>スマートアグリ・イノベーションセンター（仮称）の設立及びスマート農林水産業の推進に向けた取組を以下のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆農林水産技術センターあり方検討事業 「農林水産技術センター機能強化に係るあり方検討会」の検討結果を6月議会で報告するとともに、その具体化に向けて調整を進めた。 ◆スマート農林水産業加速事業 (1) 次世代につなぐ営農体系確立支援事業

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況																											
	<p>スマート技術の活用による生産性向上や作業の軽労化・効率化の実証を支援した。 京丹後市 丹後花卉生産協議会</p> <p>◆スマート農林水産業加速事業</p> <p>(1) 情報提供・技術相談</p> <p>ア スマート農林水産業情報センター事業 スマート農林水産技術についてのワンストップ相談窓口を設置した。 相談件数 58件</p> <p>イ 先進技術発信事業 スマート技術の企業や専門家等による技術展示・相談会を開催し、技術導入に向けて生産者と企業とのマッチングを推進した。 令和4年1月14日 農林センター 80人 令和4年2月22日 丹後農業研究所 95人</p> <p>(2) 導入支援 スマート農林水産業実装チャレンジ事業 スマート技術（機械等）の導入に取り組む生産者を支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td>京都市</td> <td>1件</td> <td>可変施肥田植機</td> </tr> <tr> <td>福知山市</td> <td>2件</td> <td>食味・収量センサーコンバインほか</td> </tr> <tr> <td>宮津市</td> <td>3件</td> <td>食味・収量センサーコンバイン</td> </tr> <tr> <td>亀岡市</td> <td>3件</td> <td>直進アシストトラクタほか</td> </tr> <tr> <td>八幡市</td> <td>3件</td> <td>環境制御システム</td> </tr> <tr> <td>木津川市</td> <td>1件</td> <td>直進アシストトラクタ</td> </tr> <tr> <td>京丹後市</td> <td>3件</td> <td>直進アシスト田植機ほか</td> </tr> <tr> <td>南丹市</td> <td>1件</td> <td>食味・収量センサーコンバイン</td> </tr> <tr> <td>京丹波町</td> <td>4件</td> <td>ドローンほか</td> </tr> </table>	京都市	1件	可変施肥田植機	福知山市	2件	食味・収量センサーコンバインほか	宮津市	3件	食味・収量センサーコンバイン	亀岡市	3件	直進アシストトラクタほか	八幡市	3件	環境制御システム	木津川市	1件	直進アシストトラクタ	京丹後市	3件	直進アシスト田植機ほか	南丹市	1件	食味・収量センサーコンバイン	京丹波町	4件	ドローンほか
京都市	1件	可変施肥田植機																										
福知山市	2件	食味・収量センサーコンバインほか																										
宮津市	3件	食味・収量センサーコンバイン																										
亀岡市	3件	直進アシストトラクタほか																										
八幡市	3件	環境制御システム																										
木津川市	1件	直進アシストトラクタ																										
京丹後市	3件	直進アシスト田植機ほか																										
南丹市	1件	食味・収量センサーコンバイン																										
京丹波町	4件	ドローンほか																										

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>伊根町 1件 定置網モニタリングシステム</p> <p>(3) 技術開発・実証</p> <p>ア スマート農業加速化実証プロジェクト事業</p> <p>国のスマート農業実証プロジェクトを活用し、モデル経営体においてスマート農業の技術を一貫体系で展示実証した。</p> <p>南山城村 1地区 茶</p> <p>イ 京都イノベーション創造事業</p> <p>農林水産業のスマート化を図る技術メニューの開発・実証を行うため、産学公連携によるコンソーシアムにおいて共同研究を実施した。</p> <p>スマート農業</p> <p>ICTを活用した機械摘みてん茶の製茶工程省力管理システムの開発</p> <p>スマート畜産</p> <p>乳牛の姿勢・行動検知センサーによる乳量の向上、分娩時死亡事故等の防止技術の開発</p>
<p>「環境イノベーション創出プロジェクト」として、環境・経済・社会の好循環を生み出す取組を進めます。</p> <p>▷IoE (Internet of Energy) を利用したエネルギー需給を最適化します。</p> <p>▷産学公連携プラットフォームを構築し、再生可能エネルギーでつくった水素の産業・家庭における利用を促進します。</p> <p>▷産学公連携による、気候変動に適応するための新たなビジネスを育成します。</p>	<p>◆EV充電器を活用したエネルギーマネジメント事業</p> <p>エネルギー事業者と、府内での電気自動車の充電器を活用した大規模施設等の電力の需給調整について協議を行った。</p> <p>◆次世代エネルギー活用社会推進事業</p> <p>京都舞鶴港(西港)において、地元の倉庫事業者の協力を得て、燃料電池フォークリフトの使用と水素の循環供給の実証事業を実施した。</p> <p>◆気候変動適応推進事業費</p> <p>令和3年7月に京都府・京都市・総合地球環境学研究所の3者で「京都気候変動適応センター」を設置し、京都で生じている自然生態系、</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>農林水産業等における気候変動の影響を把握するため、ヒアリング調査を実施した。また、収集した情報を整理・分析した上で、シンポジウムやホームページ等で発信した。</p>
<p>「MaaS・α促進プロジェクト」を創設し、MaaS (Mobility as a Service) など、新たなモビリティサービスの導入により、利用者ニーズに即したシームレスな移動を生み出すとともに、持続可能な地域交通の確立をめざします。</p>	<p>◆地域公共交通計画等策定支援事業</p> <p>地域公共交通の将来像や交通再編、MaaS等の新モビリティサービスの推進を位置づけた地域公共交通計画の策定を支援した。</p> <p>策定計画（補助金・負担金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通計画（1,250千円） ・ JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（1,250千円） ・ 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画（1,250千円）

「災害・犯罪等からの安心・安全」きょうとチャレンジの取組状況

【到達目標】

指標名称	単位	基準値 (2018年度)	目標数値 (2023年度)	参考年間 目標	実績数値 (達成率：%)
災害時声掛け隊の人数 (累計)	人	—	500	300	528 (176.0)
刑法犯認知件数	件	16,821 (2018年)	15,000 (2023年)	—	2023年に 15,000件を めざす
年間の交通事故死者数	人	52 (2018年)	40以下 (2025年)	—	2025年までに 40人以下を めざす

【令和3年度実績】

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
桂川改修について、嵐山地区等、下流の国管理区間においては、昭和28年台風13号洪水に対応した整備を促進するとともに、上流の亀岡地区等、府管理区間においても、霞堤の嵩上げ着手等、河川整備計画に掲げた改修を推進します。	<p>◆国直轄河川等事業 国直轄河川の改修等のために要した費用を負担し、治水安全度の向上を図った。 (河川事業(直轄河川改修)) 【河川名】 桂川</p> <p>◆安心・安全基盤整備事業 河川改修事業の実施において、水系一貫した広域的な整備を図った。 (広域河川改修事業) 【河川名】 桂川</p> <p>◆地域密着型社会資本整備事業 治水計画の検討等を行った。 (河川企画調査事業) 【河川名】 桂川</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>由良川改修について、国管理区間の河道掘削、堤防整備、宅地嵩上げ等、緊急治水対策を促進するとともに、府においても支川の河川改修、内水対策を国と連携し推進します。</p>	<p>◆国直轄河川等事業 国直轄河川の改修等のために要した費用を負担し、治水安全度の向上を図った。 (河川事業(直轄河川改修)) 【河川名】 由良川</p> <p>◆安心・安全基盤整備事業 河川改修事業の実施において、水系一貫した広域的な整備を図った。 (広域河川改修事業) 【河川名】 宮川、牧川 等 福知山市が実施する市街地整備等に併せた河川改修事業に対して補助を行った。 (都市基盤河川改修事業) 【河川名】 蓼原川 流域一体で河川改修や情報基盤の整備等を行い、水害から府民の生命財産を守るための総合的な防災対策の推進を図った。 (総合流域防災事業) 【河川名】 相長川、大谷川 等 再度災害の発生を防止するため、河川の整備促進を図った。 (床上浸水対策特別緊急事業) (完了) 【河川名】 弘法川・法川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 (事業着手) 設計、護岸工 ・平成28～令和2年度 設計、用地取得、護岸工、橋梁工、ポンプ施設設置 ・令和3年度 護岸工(事業完了) <p>頻発化・激甚化する水害に対する治水安全度を向上させるため、河川の整備促進を図った。 (特定洪水対策等推進事業) 【河川名】 大谷川</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>◆防災基盤整備事業 度々浸水被害が発生している河川のネック箇所について、緊急河川改修を行った。 (地域防災対策事業) 【河川名】 弘法川</p> <p>◆地域密着型社会資本整備事業 (地域振興河川事業) 護岸工等の河川改修や地域環境等と調和した良好な水辺空間の整備を行い、治水安全度の向上と河川環境の保全を図った。 【河川名】 弘法川</p>
<p>京都府が管理する大野ダムについて、洪水調節機能を高めるため、事前放流目標水位の暫定的な引下げ等、効果的な管理を行います。 また、日吉ダム等、国及び水資源機構が管理するダムについても、洪水調節機能の充実等に向けた取組を促進します。</p>	<p>◆大野ダムにおいて、事前放流の実施に必要な施設の改良を実施した。</p>
<p>老朽化したため池の適切な維持管理を行うとともに、防災重点ため池について、浸水想定区域図の公表を進め、ため池ハザードマップの作成を進めます。</p>	<p>◆農林水産業基盤整備事業 (団体営ため池等整備事業) ため池等の農業用施設の改修及び農村防災施設の整備等を支援することで、農業用水の安定供給を図り、災害を未然に防止した。 ため池等整備事業 (樋門撤去ほか) 2 地区 調査設計事業 (実施計画策定ほか) 18 地区 農業水路等長寿命化・防災減災事業 (ハザードマップの作成ほか) 20 地区</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(府営ため池等整備事業)</p> <p>老朽化した農業用ため池等について、改修を実施することで、農業用水の安定供給を図り、災害を未然に防止した。</p> <p>福知山(その2) (福知山市) ため池改修</p> <p>大内山田奥池 (") "</p> <p>小代呂池 (綾部市) "</p> <p>上桂川 (亀岡市) 頭首工改修</p> <p>段ノ池 (") ため池改修</p> <p>昭和池 (") "</p> <p>廻り池 (亀岡市・南丹市) "</p> <p>川口 (八幡市) 揚水機場改修</p> <p>田辺排水機場 (京田辺市) 排水機場改修</p> <p>菅 (京丹後市) ため池改修</p> <p>口人 (南丹市) "</p> <p>大保池 (") "</p> <p>奥池(池ノ内) (") "</p> <p>梅谷 (木津川市) "</p> <p>梅谷新池1号 (") ため池廃止</p> <p>吹前揚水機場2期 (京都市・宇治市・久御山町) 揚水機改修</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(小規模老朽ため池整備事業)</p> <p>国庫補助事業の対象にならない小規模老朽ため池の整備を支援することで、農業用水の安定供給を図り、災害を未然に防止した。</p> <p>野田池 (京都市) 転落防止柵設置 天仏講池 (//) // 寒谷東池 (亀岡市) 取水ゲート改修 ほか</p>
<p>桂川右岸流域下水道事業「いろは呑龍トンネル」について、令和2(2020)年度の暫定供用・令和5(2023)年度の完成に向け、南幹線及び呑龍ポンプ場の整備を進めるとともに、流入量・貯留量の予測精度を上げ、より正確な浸水予測情報を発信し、貯留機能と流下機能を最大限に発揮させる運用を確立します。</p>	<p>◆流域下水道事業 (いろは呑龍トンネルの整備)</p> <p>南幹線及び呑龍ポンプ場について令和3年度に供用開始するとともに、雨水を一時的に貯留する調整池や向日市及び長岡京市からの雨水を流入するための接続施設の整備を実施した。</p>
<p>危機管理センターを設置し、オペレーションルームの常設、国等の応援機関の専用スペース・リエゾン室の確保、4振興局へのサブセンターの設置等、京都市及び府内市町村対策本部とのネットワークを強化します。</p> <p>また、府・市町村の災害発生時対応業務について、図表等を用いて視覚的にも分かりやすく標準化するとともに、総合防災情報システムの整備、国のISUT(災害時情報集約支援チーム)との連携体制の確立、備蓄管理システムの整備、防災情報の多言語発信、洪水氾濫状況等のリアルタイム配信など、最先端の危機管理体制を構築します。</p>	<p>◆危機管理センター整備事業 常設の危機管理センター設置に向けた基本設計を実施した。</p> <p>◆総合防災情報システムについては、令和3年4月から運用を開始し、災害時には市町村や防災関係機関から災害情報を一元的に収集・共有することが可能となり、迅速且つ的確な災害対応を行うとともに、府民に向けてきょうと危機管理WEBから避難所の開設情報等の情報発信を行った。</p> <p>◆京都府河川防災情報システムについて、障害に強く、確実に防災情報を提供するシステムへ再構築するため、庁外クラウドへの移行並びに回線の冗長化に着手した。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>府内全ての自主防災組織における水害等避難行動タイムラインの策定と「避難時声掛け体制」を確保するとともに、災害危険情報の対象エリアを精緻化し、危険度の高いエリアに絞ってプッシュ配信することにより、情報の信頼性を向上させるなど、「逃げ遅れゼロ・プロジェクト」として取り組みます。</p>	<p>◆民間事業者等による防災情報アプリを通じた情報発信や、災害情報のオープン化の内容・方法及び民間事業者から提供される情報の活用について、検討を実施。</p> <p>◆中小河川タイムライン策定支援事業 人家等に影響を及ぼす可能性がある中小河川において、避難開始を判断する目安となる水位を検討することで、避難行動タイムラインの作成を支援した。</p>
<p>降雨情報（X-R a i n）とマイクロな地形情報、実績水位をもとに早いタイミングで中小河川の洪水を予測するA I活用「氾濫早期予測システム」を開発します。</p>	<p>◆安心・安全基盤整備事業 （総合流域防災事業） 流域一帯で情報基盤の整備等に着手し、水害から府民の生命を守るための総合的な防災対策の推進を図った。</p>
<p>犯罪の発生情報を集約、A I等を活用して情報の分析機能を強化するなど、犯罪防御システムの高度化を図り、先制的なパトロールや効果的な情報発信等により、更なる犯罪抑止対策を推進します。</p>	<p>◆犯罪防御システム活用事業 （1）選定したパトロールコースにおける府民との協働パトロール等の犯罪抑止活動を実施したほか、犯罪リスクの高いエリアにおける警戒活動を行うことにより、強盗事件を検挙した。 （2）犯罪関連情報と交通事故情報を統合した犯罪・交通事故情報マップの提供により、情報発信機能を強化し、地域防犯力の向上を図った。</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
<p>「子どもの交通安全「安心空間」確保プロジェクト」を創設し、</p> <p>▷通学路やお散歩コース等の園外活動における交通事故防止のため、路肩の拡幅やポールを設置するとともに、地域、保育所・認定こども園・幼稚園、学校、行政、警察等が連携して、子どもが安心して通行できる交通環境の整備を推進します。</p> <p>▷車両運転者への対策として、交通安全教室等あらゆる機会を活用するとともに、安全運転サポート車や急発進抑制装置装着の技術開発や普及を進めます。</p>	<p>◆未来へつなぐ交通安全推進事業</p> <p>子どもの歩行中の事故を防止するため、未就学児（年長児）を対象とした交通安全教育絵本（安全横断啓発児童書）を作成し、府内の保育所や幼稚園等に配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 発行部数 2,000 部 ▶ 配布施設数 1,138 箇所 （幼・保・認定こども園 727 箇所 府内図書館・児童館他 411 箇所） <p>◆子供安全安心実感まちづくり事業 （子供の合図横断の推進と家庭内での交通安全教育のフォローアップ）</p> <p>幼児、児童に身近な教諭、保育士、保護者等が体系的かつ効果的な交通安全教育ができるように、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を指導する交通安全教育動画を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児・児童向け 8本 保護者向け 2本 <p>（ゾーン30周辺における交通安全施設の整備）</p> <p>モデル地区として設置した府内2箇所（亀岡市立安詳小学校周辺及び京都市立第四錦林小学校周辺）において、歩行者側を常時青色とし、車両の接近により信号が変わる歩行者優先信号機を整備するとともに、ゾーン30エリア、通学路周辺の通過車両に対し、情報提供する光ビーコンや側線付き横断歩道を整備した。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通信号機の改良 歩行者優先信号化 2基 (2) 交通管制システムの整備 情報収集提供装置改修（光ビーコン） 8基 (3) 道路標示の整備 横断歩道の設置塗替（側線） 97本 実線標示の設置塗替 35.0m 道路標示の消除 59.0m

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>(可搬式速度違反自動取締装置による車両速度抑制対策)</p> <p>可搬式速度違反自動取締装置6基を活用し、通学路・生活道路等での速度違反取締りを実施した。</p> <p>通学路における運用回数 444回 検挙数(令和3年中) 792件 子供の交通事故発生状況(小学生、歩行中) 死者数 0人 (前年対比±0人) 負傷者数 38人 (// +14人)</p> <p>◆未来へつなぐ交通安全推進事業</p> <p>交通安全府民運動において、広く普及啓発を行うとともに、府民が自身の運転技術を把握し、安全運転に対する意識を高めるため、ドライビングシミュレーターの活用を行った。</p> <p>▶ドライビングシミュレーターを使用した交通安全教室等の実施 8地域 約890人</p> <p>◆京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業</p> <p>自社独自の強みを活かし、新商品・新サービス・新ビジネスモデル等の開発や新分野進出等の新規事業に取り組む中小企業等を対象に、支援メニューをパッケージ化し、各企業に応じた最適な育成メニューを提供することにより、事業計画の策定から設備投資まで、あらゆる段階からのチャレンジを支援した。</p> <p>ア 事業創生コース 新規事業計画の見極めのための市場調査等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>イ 事業化促進コース</p>

総合計画に掲げた具体方策	令和3年度実施状況
	<p>試作品・サービス等の開発、テスト販売等による本格的な市場調査等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>ウ 本格的事業展開コース</p> <p>実用化に向けた応用研究・生産技術開発、生産・販売・サービス提供のための設備の導入に要する経費の一部を助成した。</p> <p>交付件数 45 件</p> <p>交 付 額 403,221 千円</p> <p>◆「産学公の森」推進事業</p> <p>産学公の多様な連携プロジェクトの組成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援する助成事業を実施した。</p> <p>交付件数 30 件</p> <p>交付額 383,357 千円</p>
<p>G I Sを活用した交通事故の発生原因等の多角的な分析に基づき、原因別に重点を絞った街頭活動の展開や自転車通行帯等の道路交通環境の整備等、地域の交通実態に即した交通事故防止対策を進めます。</p>	<p>◆犯罪防御システム活用事業</p> <p>現行システムに付加した交通事故分析機能を活用し、交通規制・交通安全教育・交通取締り等を行い、交通死亡事故抑止対策を推進した。</p>